

公益社団法人石垣市シルバー人材センター

令和4年度 事業報告

概要

石垣市シルバー人材センターは、高齢者の就業機会の拡大を図り、健康や新たな生きがいと活力ある地域社会づくりに貢献することを目的として事業を運営してまいりました。

少子高齢化が進展し、人口が減少する中において、高齢者に対する生活援助や人手不足分野等における会員の就業を通して、シルバー人材センター事業への期待がますます大きくなっています。

そのような中、当センターは安定的な財政・事業運営を図るべく、センター運営の指針として令和2年度に策定した「第四次中期事業計画（令和3年度から令和6年度）」及び「令和4年度事業計画」に基づき、「会員拡大」・「就業拡大」について重点的に取り組み、派遣事業の開拓、就業会員の確保を図りました。

しかし、石垣市においても新型コロナウイルス感染拡大の予防を図る社会情勢の中で少なからず就業を休止するなどの影響はありましたが、今年度請負契約金額は、対前年度比 14,441,307 円の 9.3%増と大幅に上回る実績を上げることができました。また、労働者派遣事業も対前年度比 344,071 円の 8%増の実績となりました。

一方、安全就業の取り組みについては、毎月定例で安全集会を実施し、安全・適正就業に関しての周知徹底を図り、定例の集会に加え、事故発生時における緊急安全集会の開催やパトロールの強化に努めましたが、事故件数は6件となりました。次年度も引き続き傷害・損害事故の撲滅を目標に安全適正就業に努めてまいります。

令和4年度当センターは設立30周年の節目にあたり、令和5年1月に記念式典を挙行することができました。石垣市をはじめ、関係機関及び事業所並びに会員、地域の方々のご理解、ご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今後も「地域に信頼され、魅力あるシルバー人材センター」を目指してまいります。

以下、事業の具体的な実施状況について報告します。

1 基本理念

石垣市に居住する高齢者が自主的な組織参加と労働能力の発揮により、組織の基本理念「自主・自立、共働・共助」のもとにセンターの発展を推進し、地域の担い手として高齢者の活力及び地域社会の活力向上を図った。

2 基本方針

- (1) 高齢者の入会促進と社会参加を促進するため、就業機会の確保、拡大に努めた。
- (2) 安全・適正就業の推進に努めた。
- (3) 組織強化及び活性化を図るとともに、財政基盤の強化に努めた。
- (4) 公益法人として、公益目的事業の着実な実施と法に準拠した運営に努めた。

3 事業実施報告

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これを会員に対してその能力、希望等に応じて請負又は委任の形式により提供する事業を行った。

数値実績

ア 会員数	375人
イ 新規入会者	35人
ウ 就業延人員	2万6,849人日
エ 受注実績	1億6,989万1,246円

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による、臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業を希望する会員及び一般高齢者のために有料の職業紹介事業を行ったが結果として下記のとおりとなった。

ア 数値実績

・求人件数	0件
・有料職業紹介事業収益	0円

② 労働者派遣事業の実施（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する会員のために臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業を行った。

請負・委任になじまない仕事について、沖縄県シルバー人材センター連合が派遣元事業主となり、当センターが会員を派遣する実施事業所となって取り組んだ。

ア 数値実績

- ・就業延人員 1, 0 2 3 人日
- ・派遣先事業所数 3 事業所
- ・労働者派遣事業実績 4 5 7 万 9, 9 4 2 円

(3) 臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより、就業に結び付けるとともに、より広い分野での仕事を確保提供するため、次のとおり実施した。

ア 講習回数 2 回

- 内容
- ・各機械取扱いに関する講習会
 - ・安全就業に関する講習会
 - ・健康管理に関する講習会

イ 受講者数 4 2 人

(4) 上記(1)から(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

一般市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知するとともに、高齢者自身の意識啓発を図るため、次のとおり行った。

ア 地域の高齢者へシルバー人材センター事業を周知し事業参加の呼びかけを行った。

イ ・シルバー便りの発行 (年間3回)

ウ 普及啓発促進月間(10月)を実施した。

- ・社会貢献事業(清掃ボランティア活動等)の実施。

参加者 4 5 人

- ・会員による「一会員・一入会」ロコミによる入会の声かけ活動

参加者 4 5 人

- ・沖縄県シルバー人材センター連合入会キャンペーン事業の実施。
入会者 6人
- ・地元地域ラジオ局によるCM放送を行った。
- エ ホームページによる情報提供を行った。
- オ 行政及び関係団体等との連携強化を図った。
 - ・石垣市長及び石垣市議会議長へシルバー人材センター事業の拡大・支援の要請を行った。

② 安全・適正就業推進

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう安全意識の高揚とこれまでの、事故発生の要因を念頭に置き「安全は全てに優先する」ことを改めて確認し、組織を挙げて事故撲滅に努めるとともに、法令遵守による適正就業の徹底を図るため、次のとおり行った。

- ア 安全・適正就業委員会の開催 2回
 - 安全対策推進実施計画を策定し取り組んだ。
- イ 安全・適正就業推進員による巡回パトロールを行った。
 - ・回数 年間 199回 ・実施場所 1, 524カ所
- ウ 安全・適正就業強化月間の取り組みを行った。
 - ・安全大会の開催
(新型コロナウイルス感染予防拡大防止の為、参加者を制限した。)
内容：使用用具(刈払機、芝刈り機等) 参加者 42人
：健康管理(熱中症等) 参加者 42人
- エ 安全就業に対する意識高揚を図るため、早朝に安全集会を開催した。
 - ・年間(毎月及び緊急安全集会含む) 14回 参加者 300人
 - ・会員の新型コロナ感染リスクなど安全就業面が懸念される中、事務局からの情報提供及び就業会員へのマスク配布・就業各現場へアルコール消毒液の設置を行った。
- オ 受注契約の内容や就業形態について、自主点検表による確認を行うとともに、ローテーション就業やワークシェアリングの徹底による適正就業に取り組んだ。

以上、安全・適正就業に取り組んだが、前年度から6件の事故発生となった。

③ 調査研究

高齢者の就業に対する意識調査及び地域のニーズや時代の要請に対応した事業展開を図るために次のとおり調査研究を行った。

ア 高齢者の就業に対する意識調査に関する調査を実施した。

・入会説明会時におけるアンケート調査 33人

イ 各種会議・研修会にて得た情報を基に研究しセンター事業に反映させた。

・他センターの先進事例等を参考にし、優れた事案については当センターに取り入れセンターの円滑な運営に努めた。

・会議、研修会参加回数 15回

・事務局内センター職務会 13回

(事業推進検討委員会及び業務担当会議、研修会等について)

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁を訪問し、高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、高齢者の職業能力や経験を把握・分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を次のとおり行った。

ア 開拓員による、一般家庭、事業所等を訪問し就業開拓・拡大を図った。

新型コロナ感染拡大防止の為、訪問を控え、ポスティングによる拡大を図った。

・開拓日数 216日 ・訪問件数 0件

イ 会員による就業開拓を推進した。

・口コミによる就業開拓を行った会員数 45人

⑤ 軽度生活援助事業

地域社会における「介護」分野の課題に応えるため、地方公共団体と連携した地域密着型の事業を行った。

本事業の旧企画提案方式事業は国庫補助金交付終了したが、石垣市と連携し受託事業として「石垣市軽度支援事業」を実施した。

・健康づくり及び介護予防事業 就業延人員 186人日

⑥ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域における働く高齢者のためのワンストップセンターとして、雇用、就業職業能力開発、ボランティア活動、情報提供を次のとおり行った。

- ア 入会説明会・相談会の開催 (年間13回)
 - ・参加者数 51人

⑦ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、「できることを」・「できる範囲で」行う社会参加活動を行った。

- ア 清掃及び植栽等の手入れ (参加者314人)
- イ 作業車両による地域見回りパトロール (八重山警察署と連携して子どもの見守り) 車両 1台 日数 194日

(5) 運営体制

① 会議

- ア 定時総会の開催 1回
- イ 理事会の開催 15回
- ウ その他必要な会議の開催
 - 広報部会開催 9回
 - 事業部会開催 1回
 - 総務部会開催 4回

② 事務局体制の充実

センターの事業運営には事務局体制の充実が不可欠であり、そのために事務局職員の資質向上を図った。

- ア 新たに導入される事業や再編事業等、変化していくシルバー事業へ対応するための情報を収集し、組織的に対応できる事務局体制を構築した。
- イ 各種研修会参加及び他のセンターとの連携により職員の資質向上を図った。
- ウ 事業を円滑かつ効率的に推進するため定期的な職務会を実施した。
 - ・回数 48回
- エ 沖縄県シルバー人材センター連合との連携